

音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む鑑賞授業

～発音原理に基づいた楽器分類法を取り入れて～

27年度 三条市立第三中学校
明道弘香

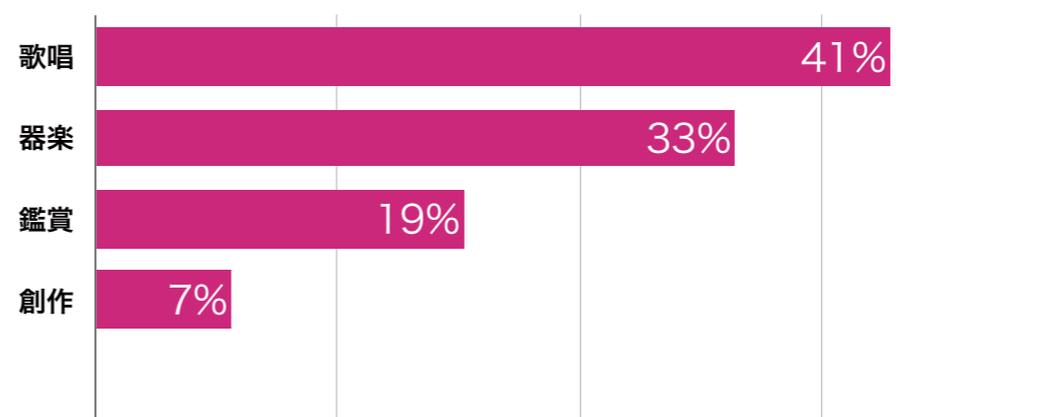
本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践1
- ⑦実践2
- ⑧実践3
- ⑨実践のまとめ

本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践1
- ⑦実践2
- ⑧実践3
- ⑨実践のまとめ

①テーマ設定について 生徒のアンケートより 「音楽の授業で好きな内容は？」

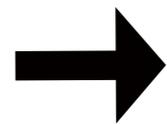


歌唱が好きと答えた生徒の記述

- ・ みんなで協力して歌うことが楽しい。
- ・ みんなと息があって歌えるのが楽しい。
- ・ 合唱コンクールのために練習した時間が楽しい。

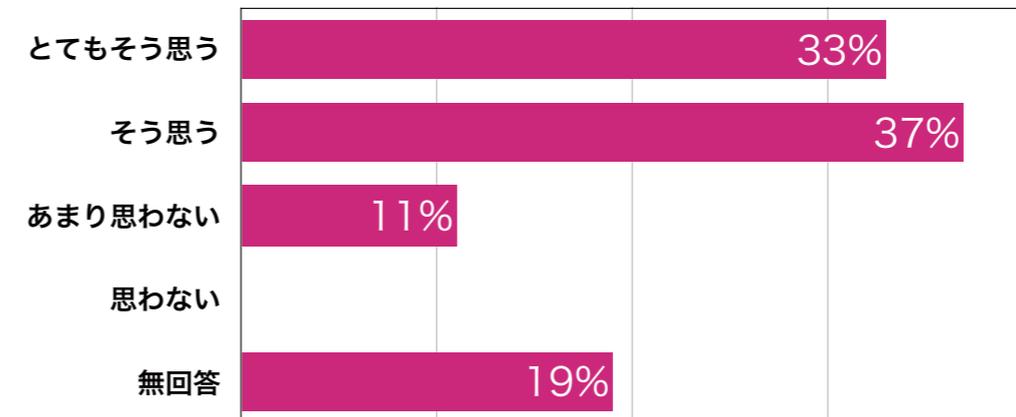
合唱練習の様子

授業や外部講師の指導をもとに、吹奏楽部の生徒など音楽について知識のある生徒がリーダーとなって曲の細部にわたり意見を出し合い表現方法について話し合っ工夫し、最優秀賞を受賞した。



専門的な学びと、協働的な学びの充実が分かる楽しい授業に繋がった。

生徒のアンケートより「鑑賞の授業は好きですか？」



鑑賞が好きと回答した生徒の記述

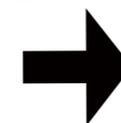
- ・ 様々な**楽器**、**文化**、**伝統**について学べるから。
- ・ 知らなかったことを知ることができるから。
- ・ どんな**テンポ**なのか、どんな**楽器**が使われているかを初めて聴くときに気にするのが癖だから。
- ・ その音楽の**伝統**を学んだり、**雰囲気**などを考えるのが楽しいから。
- ・ 曲の**イメージ**を考えるのが面白いから。
- ・ レポートに**書くのが好き**。
- ・ A4の紙にゴリゴリ**書いていくのが楽しい**。

鑑賞に苦手意識のある生徒の記述

- ・ 聴くのはいいけど鑑賞する時に**書くのは苦手**。
- ・ レポートを**書くのは大変**だけどこれから色々な音楽を知るために大切だと思った。
- ・ 何を言っているのかわからない内容については**感想を書きにくい**。

アンケート結果から

学習指導要領にある、鑑賞の授業での共通事項についてや音楽を形作っている要素について習得している生徒は、鑑賞の際に音楽の見方・考え方を働かせていることが読み取れる。一方で、これらの**基礎的・基本的な内容**が身につけていない生徒は、課題に対して苦手意識があるのではないかと考えた。

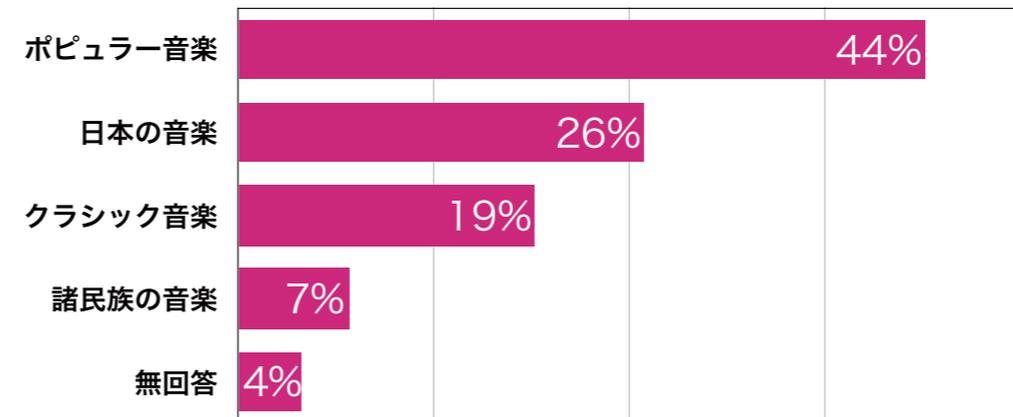


どのような視点で音楽を捉え、理解して行くのかについて将来、初めて出会った音楽に対して価値を見出していく力を育みたい

本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践 1
- ⑦実践 2
- ⑧実践 3
- ⑨実践のまとめ

②単元選択について 生徒のアンケートより 「鑑賞で好きな内容を選択して下さい」



肯定的評価の高い、ポピュラー音楽や日本の音楽が好きと回答した生徒の記述

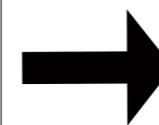
- ・好きな曲や**知っている曲**が多いから。
- ・いろんな種類の音楽を楽しめた。**それぞれの特徴**を学べた。
- ・**最近聴いている音楽**だから好き。
- ・**自分の国のこと**だから。
- ・日本の音楽は**リズムが好き**で、クラシック音楽にはないものを持っているから。
- ・どこかで**聴いたことがあるような音楽**が流れたりするから。

アンケート結果から

知っている音楽や聴いたことのある音楽は、音楽の内容や特徴について捉えやすい傾向にあると考えた。それに対して、初めて聴く音楽や内容がすぐに理解できない音楽については興味・関心を持ちにくい傾向にあると考えた。

アンケート結果から

初めて聴く音楽や内容がすぐに理解できない音楽については興味・関心を持ちにくい傾向にあると考えた。この課題を解決するため実践では、「鑑賞で好きな内容」を聞いた際に回答の少なかった**諸民族の音楽**を選択しようと考えた。



初めて出会う音楽に対して、
音楽的な見方・考え方を働かせて、
その特徴を捉え、自分なりに価値づけすることが
できる力の育成を目指す

世界の諸民族の音楽の鑑賞授業で、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む実践

本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践1
- ⑦実践2
- ⑧実践3
- ⑨実践のまとめ

③民族音楽の研究内容

「民族音楽学」の視点

音楽の概念・用途・機能をはじめ、音楽を作り出す社会的経済的背景、音楽家の訓練、伝承法、社会的地位、音楽の諸制度、さらに地理的条件、自然環境、そして生態系との関連を考察する。同時に、音(音楽)そのものの構造とそれを構成する道具だての諸相をも詳細に記述するのである。(柘植1991)

「民族音楽学」の視点

- ・ 音楽の**構造**
- ・ 音楽の**背景**
(他分野との関わりを含む)
- ・ 音楽を演奏する**楽器**について

「民族音楽学」の考え方 楽器分類法

もっぱら用いられるオーケストラの分類は3つもの相違なる原則にもとづいている。

「弦楽器」…発音体の材料

「管楽器」…音を出すための力源

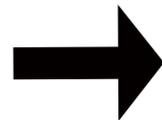
「打楽器」…動作そのもの

アメリカ人をカリフォルニアの人と、銀行家と、カトリック信者に分けるのと同じようなこと。

(クルト・ザックス1966)

「民族音楽学」の考え方 楽器分類法

民族音楽学では、主に音響学的な原理に基礎を置いたザックス＝ホルンボステル分類法を基にした分類法を用いる。



学習指導要領解説にも記述されている、発音原理に基づいた分類法

「民族音楽学」の考え方 楽器分類法

鍵盤楽器の分類に違和感を感じる。



金属を打つ



空気を送る



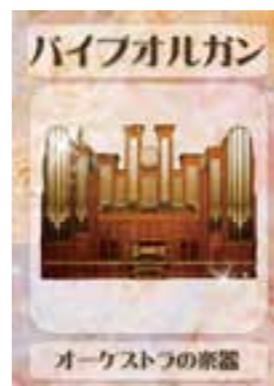
弦を打つ

「民族音楽学」の考え方 楽器分類法

発音原理に基づいた分類では



金属を打つ
体鳴楽器



空気を送る
気鳴楽器



弦を打つ
弦鳴楽器

本日の発表内容

- ① テーマ設定について
- ② 単元選択について
- ③ 民族音楽の研究内容
- ④ 学習指導要領での内容
- ⑤ 現在の社会的背景について
- ⑥ 実践1
- ⑦ 実践2
- ⑧ 実践3
- ⑨ 実践のまとめ

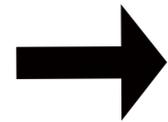
④学習指導要領での内容

中学校学習指導要領解説(平成29)

2各領域及び〔共通事項〕の内容

(2)鑑賞領域の内容

- ①音楽の**素材としての音**
- ②音楽の**構造**
- ③音楽によって喚起されるイメージや感情
- ④音楽の鑑賞における批評
- ⑤音楽の**背景となる文化や歴史**



①②⑤の項目で民族音楽学の視点と関連

①音楽の**素材としての音**

楽器について学習指導要領解説では

・材質、形状、発音原理、奏法などからどのような音であるか捉えることが大切。

⑤音楽の**背景となる文化や歴史**

学習指導要領解説では

・人間の生活の基盤である風土、文化や歴史、伝統といった環境から音楽は影響を受けて成立し、様々な特徴をもつ。

・多様な音楽に触れることは、人間の生活と音楽との関わりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育てることになる。

④学習指導要領での内容

中学校学習指導要領解説(平成29)

2各領域及び〔共通事項〕の内容

(3)〔共通事項〕の内容

- ①音楽の構造の原理
- ②知覚と感受の関わり
- ③音楽を共有する方法としての用語や記号など

学習指導要領の内容と「民族音楽学」の視点から

- ・発音原理に基づいた楽器分類
 - ・音楽の内容
 - ・音楽の背景
- について授業で取り上げたい。

本日の発表内容

- | | |
|---------------|--------|
| ①テーマ設定について | ⑥実践1 |
| ②単元選択について | ⑦実践2 |
| ③民族音楽の研究内容 | ⑧実践3 |
| ④学習指導要領での内容 | ⑨実践の成果 |
| ⑤現在の社会的背景について | |

⑤現在の社会的背景について

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ~全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現~(答申)【関連部分抜粋】令和3年1月26日

5.増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について

(6)異文化理解, 母語・母文化支援, 幼児に対する支援

○学校においては、日本人を含む全ての児童生徒等が、我が国の言語や文化に加えて、**多様な言語や文化、価値観について理解し、互いを尊重しながら学び合い、異文化理解や多文化共生の考え方が根付くような取組を進めることが重要**である。

アメリカでの取組

・都市部における文化的マイノリティが集まる学校現場において、教師が生徒の文化的背景を考慮したクラス運営を行う際に、多文化音楽教育が役立つとの報告があった。(峯2011)

→アメリカ国内に存在する文化的マイノリティに対する差別を克服するもの。文化的・民族的マイノリティに対する理解を音楽の学習を通して行い、一国内で共生できる力を獲得することが目的

本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践1**
- ⑦実践2
- ⑧実践3
- ⑨実践のまとめ

⑥実践1 楽器の特徴を捉える 2023年冬実施

第2時 「楽器の音色に耳を澄まして、特徴を聴き取ろう。」

- ①日本の楽器の音源を流し、楽器の特徴（発音原理や材質、形状、奏法）を聴き取る。【個人→班活動】
- ②日本の楽器を発音原理で分類する。（中学校1、2、3年生）【班活動】
- ③世界の楽器の音源を流し、楽器の特徴（発音原理や材質、形状、奏法）を聴き取る。【個人→班活動】
- ④世界の楽器を発音原理で分類する。【班活動】

※班活動をする際には、楽器のカードを各班に配布し、発音原理（弦鳴楽器、体鳴楽器、膜鳴楽器、気鳴楽器、電鳴楽器）が書かれたシートの上に楽器カードを置くことで分類を可視化できるよう工夫した。

⑥実践1 楽器の特徴を捉える 2023年冬実施

第1時 「楽器を分類するにはどのような視点があるだろう。」

- ①オーケストラの楽器を分類する際の分類の確認。
（中学校2年生）【班活動】
- ②西洋の文化的な分類であり、体系的な分類ではないことに気づかせる。
- ③体系的な分類の視点である「発音原理」に基づいた分類でオーケストラの楽器を分類する。【班活動】

前述の実践1と次に行う実践2の手立て

1：発音原理に基づいた楽器分類法

「体鳴楽器」「膜鳴楽器」「弦鳴楽器」「気鳴楽器」「電鳴楽器」を提示し、楽器の仕組みの理解を促し、異なる楽器の音色の特徴や響きの違いを体系的に捉えることができるようになる。

2：ワークシートに鑑賞する際のポイントを提示

「楽器の発音原理」「楽器の形態」「楽器の材質」「楽器の奏法」についてそれぞれ選択肢を提示することで、演奏の特徴や音色の微妙な変化等、感じたことをより詳細に書けるようになる。



楽器の音色に耳を澄まして、特徴を聴き取ろう!

注目ポイント
楽器の音色の特徴、演奏場所、演奏時間、演奏者、演奏機材、演奏スタイル

楽器の種類、名称、演奏の名称、種、類、目、録

楽器の材質、種類(木、竹、紙、ひも、たん、布の楽器)
動物(鹿、羊、牛、馬)【鹿、羊、牛、馬】
植物(草花、花、木)
動物(鹿、羊、牛、馬)
鳥類(鳥、雀)
昆虫(蝶、蜂)
その他(金属)

楽器の形状、演奏、演奏、はく、丸、角、等

| 楽器の種類 | 形状 | 材質 | 音色 | その他 | 楽器名 |
|-------|----|----|----|-----|---------|
| ① | 吹奏 | 木 | 高い | | トランペット |
| ② | 吹奏 | 木 | 低い | | トロンボーン |
| ③ | 吹奏 | 木 | 低い | | ホルン |
| ④ | 吹奏 | 木 | 低い | | クラリネット |
| ⑤ | 吹奏 | 木 | 低い | | サクソフォーン |
| ⑥ | 打奏 | 木 | 低い | | ドラム |
| ⑦ | 打奏 | 木 | 低い | | ピアノ |

ワークシートの記述①

材質と音高の繋がりや、曲の雰囲気について聴き取っている。

材質と音の響きについて聴き取っている。

楽器の音色に耳を澄まして、特徴を聴き取ろう!

注目ポイント
楽器の音色の特徴、演奏場所、演奏時間、演奏者、演奏機材、演奏スタイル

楽器の種類、名称、演奏の名称、種、類、目、録

楽器の材質、種類(木、竹、紙、ひも、たん、布の楽器)
動物(鹿、羊、牛、馬)【鹿、羊、牛、馬】
植物(草花、花、木)
動物(鹿、羊、牛、馬)
鳥類(鳥、雀)
昆虫(蝶、蜂)
その他(金属)

楽器の形状、演奏、演奏、はく、丸、角、等

| 楽器の種類 | 形状 | 材質 | 音色 | その他 | 楽器名 |
|-------|----|----|----|-----------|---------|
| ① | 吹奏 | 木 | 高い | トランペットの音色 | トランペット |
| ② | 吹奏 | 木 | 低い | トロンボーン | トロンボーン |
| ③ | 吹奏 | 木 | 低い | ホルン | ホルン |
| ④ | 吹奏 | 木 | 低い | クラリネット | クラリネット |
| ⑤ | 吹奏 | 木 | 低い | サクソフォーン | サクソフォーン |
| ⑥ | 打奏 | 木 | 低い | ドラム | ドラム |
| ⑦ | 打奏 | 木 | 低い | ピアノ | ピアノ |

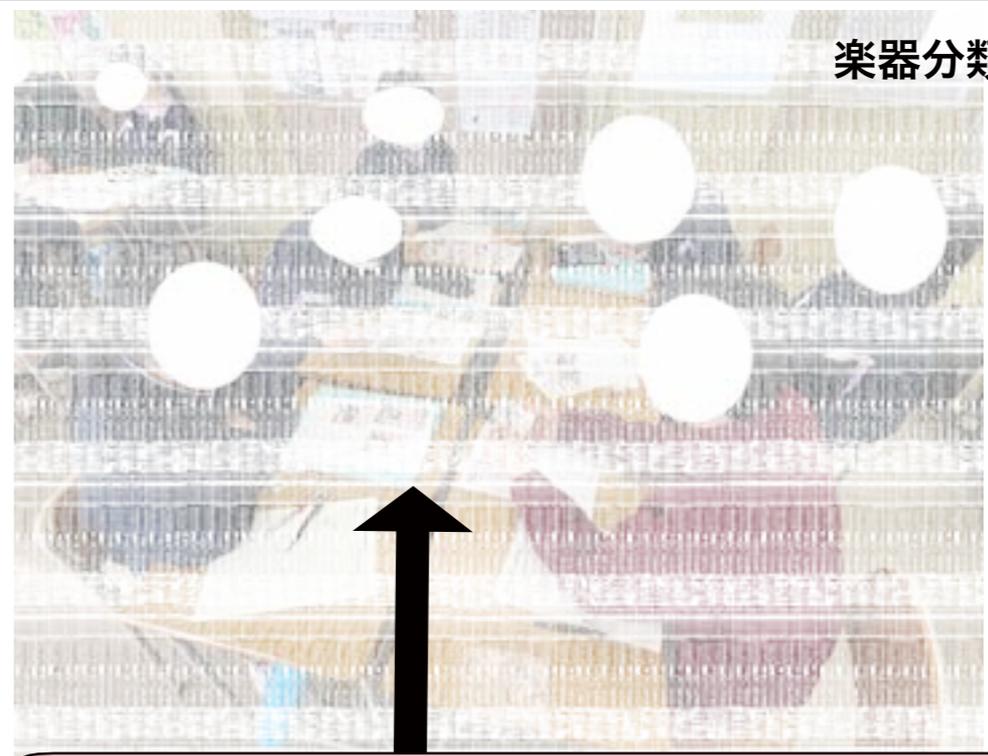
ワークシートの記述②

楽器の音色から、楽器の形状も予想している。



楽器分類の様子

各班に楽器のカードを配布し、個人の意見を共有しあっている。



楽器分類の様子

それぞれの意見をもとに班ごとに楽器を分類している。

カード



22種類。西洋の分類では、フルートやサクソなど歴史がわからないと分類できないもので間違っていたが多かった。

24種類。知っている楽器や似ている楽器が多く、日本の分類も発音原理での分類もできていた。

25種類。初めて聴く楽器がほとんどだが、既習の内容から発音原理での分類ができていた。

本日の発表内容

- ① テーマ設定について
- ② 単元選択について
- ③ 民族音楽の研究内容
- ④ 学習指導要領での内容
- ⑤ 現在の社会的背景について
- ⑥ 実践1
- ⑦ 実践2
- ⑧ 実践3
- ⑨ 実践のまとめ

⑦実践2 興味のある楽器を価値づける

2023年冬実施

「楽器の特徴や音楽の魅力を言葉で説明するには、どのように工夫したらよいだろう。」

内容

班で1つの楽器を調べ説明文を考え、皆の前で発表し、どの楽器について説明しているのか当ててもらおう活動

- ① [鑑賞] 5つの映像を鑑賞し、班で調べる楽器を決める。
- ② [班活動] → [個人] → [班活動]
 - ・ワークシートの項目ごとに手分けをし、タブレットにアップロードされている映像資料と文献資料を活用し、調べ学習を行う。
- ③ [発表] 各班の代表者が説明をし、クイズに答える。

⑦実践2 興味のある楽器を価値づける

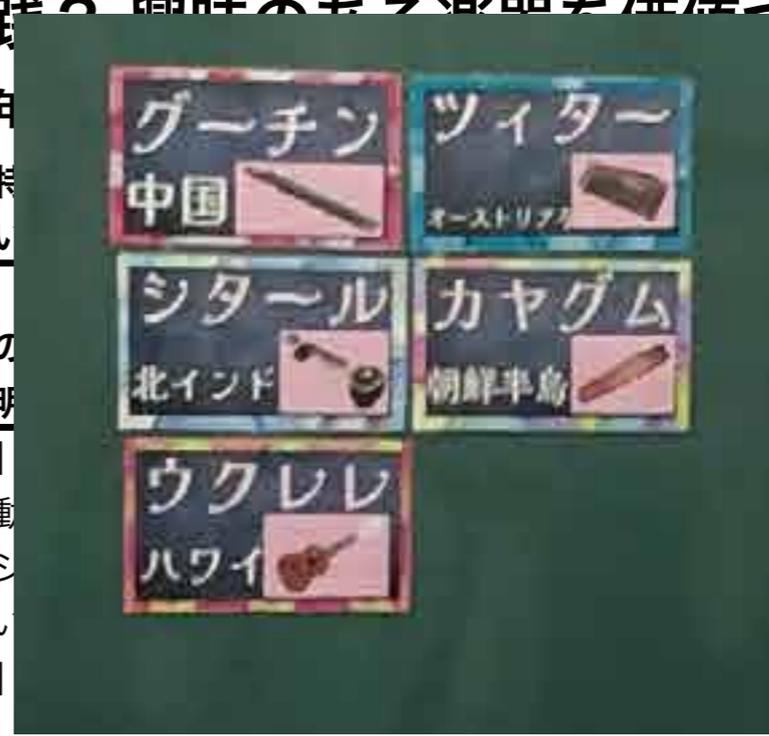
2023年

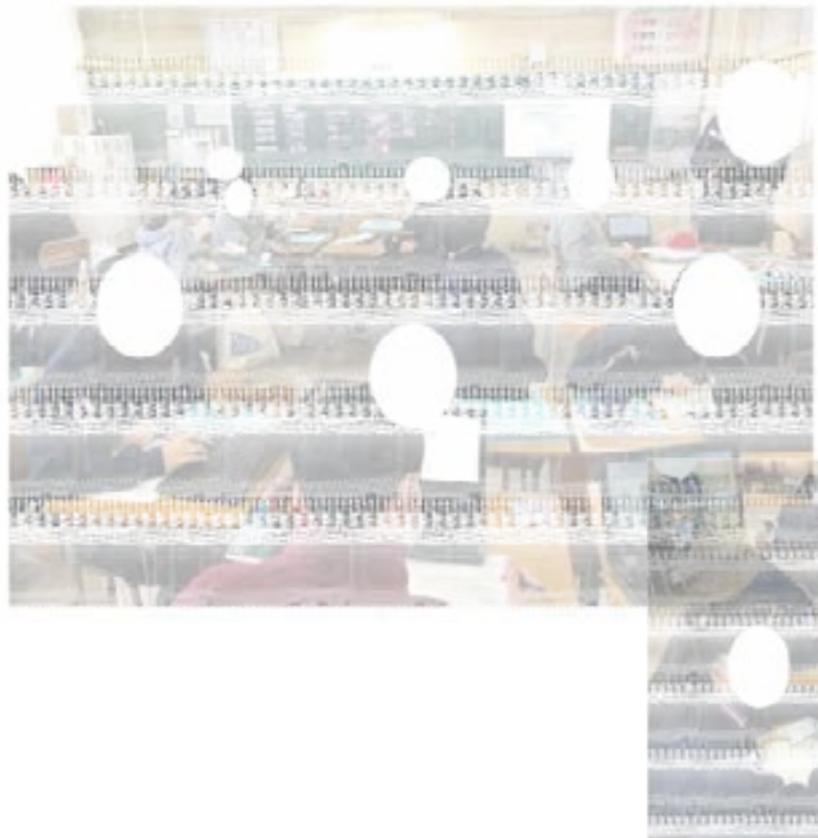
「楽器の特徴や音楽の魅力を言葉で説明するには、どのように工夫したらよいだろう。」

内容

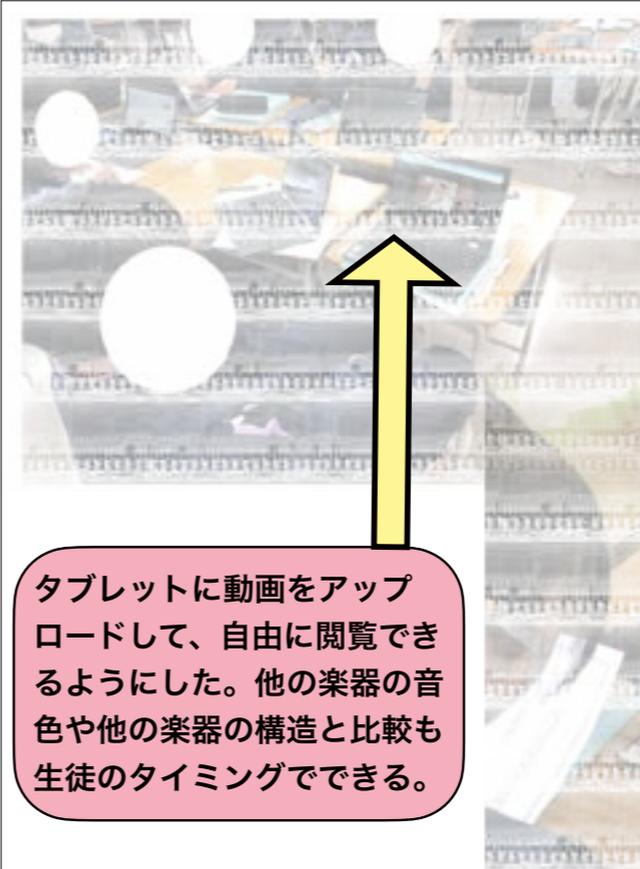
班で1つの楽器を調べ説明文を考え、皆の前で発表し、どの楽器について説明しているのか当ててもらおう活動

- ① [鑑賞] 5つの映像を鑑賞し、班で調べる楽器を決める。
- ② [班活動] → [個人] → [班活動]
 - ・ワークシートの項目ごとに手分けをし、タブレットにアップロードされている映像資料と文献資料を活用し、調べ学習を行う。
- ③ [発表] 各班の代表者が説明をし、クイズに答える。





調べ学習の様子

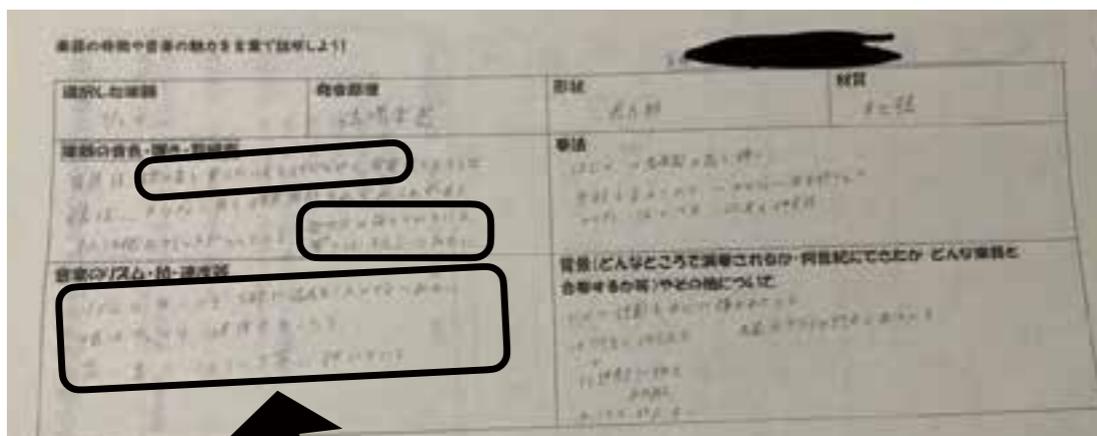


調べ学習の様子

諸民族の楽器について調べる際には、インターネットの内容より文献の内容の方が豊富にあるため、事前にPDF化し、タブレットにアップロードし、調べ学習に活用できるようにした。

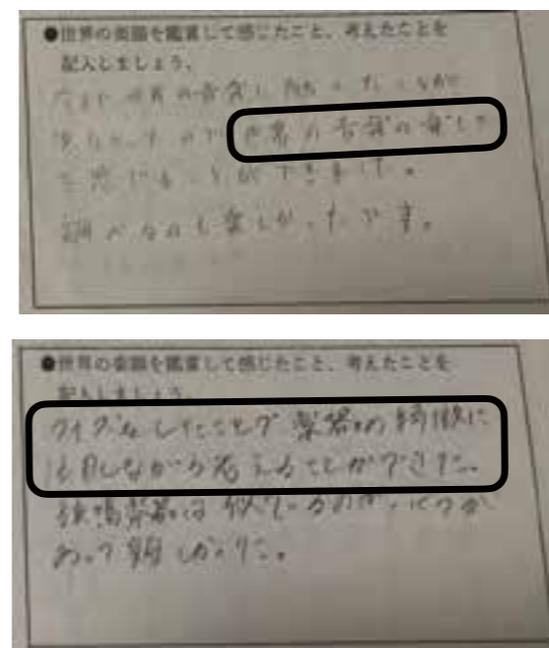
タブレットに動画をアップロードして、自由に閲覧できるようにした。他の楽器の音色や他の楽器の構造と比較も生徒のタイミングでできる。

ワークシートの記述③



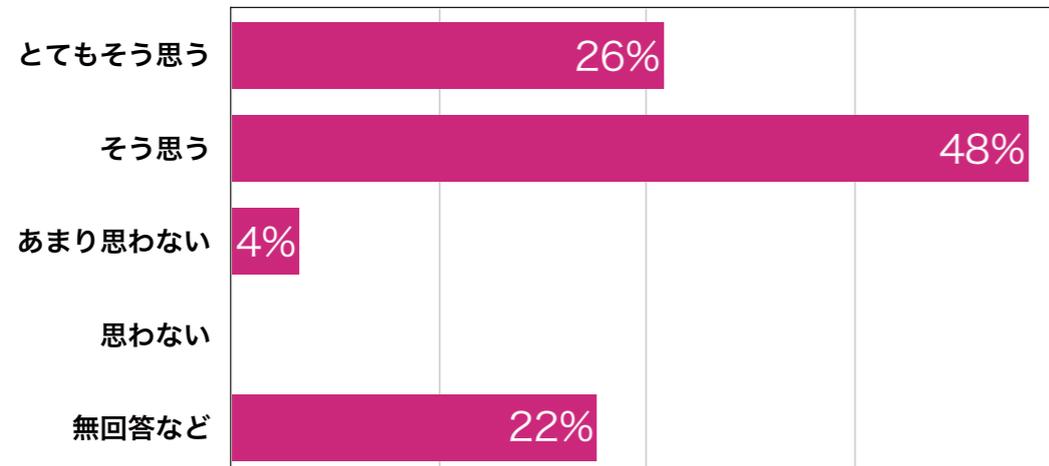
既習内容から楽器の音色や音楽の特徴、雰囲気を取り取っている。実践1を行ったことにより、実践2では、楽器の音色について、構造や材質に注目して学び説明することができた。

ワークシートの記述④



楽器の発音原理や素材、形状、奏法、民族ごとの音楽の雰囲気について等は興味を持って学習する事ができたとみとった。しかし、楽器固有の魅力についての具体的な記述が少なかった。

授業後の生徒のアンケートより 「楽器の発音原理から分類をしたことで楽器 の特徴を聞き取りやすくなりましたか。」



生徒の記述

- ・一つ一つの**楽器の音がとても聞き取りやすくなった。**
- ・発音原理から分類することで細かいところまで**文章で表現できるようになった。**
- ・どう演奏しているのかを考えるようになった。
- ・**フルートとかまぎらわしかったのがわかりやすくなった。**
- ・楽器の音の**高低や強弱**に注意して聴くようにした。
- ・去年よりも**細かいところまで楽器の良さが分かるようになった。**

アンケート結果や授業での様子から

楽器の発音原理や素材、形状、奏法、民族ごとの音楽の雰囲気について等は学習する事ができたが、楽器固有の魅力や奏法について具体的な記述が少なかった。その理由として、実際に楽器を触ることなく、動画や音源のみで学習したことが挙げられるのではないかと考えた。実際に、楽器を準備し、生徒が自由に楽器に触れることができる環境を作ることで、音色や奏法、楽器の構造に興味を持ち、楽器固有の魅力について具体的に記述できるようになるのではないかと考えた。

本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践 1
- ⑦実践 2
- ⑧**実践 3**
- ⑨実践のまとめ

⑧実践 3 興味のある視点で楽器の良さを価値づける 2024年秋実施

「興味のある視点で楽器の魅力を紹介しよう」

実践2では、楽器そのものの良さについての記述が少なかった。

→現物がないため、動画だけでは想像しにくい。楽器が目の前にあって触ることができたら、楽器固有の良さについてよりもより具体的に記述できるのではないかと考えた。

→ワークシートにキーワードとして枠を設けることで、調べる幅が狭くなってしまったため、生徒の興味関心に応じて調べることができるよう、ワークシートの枠をなくした方がそれぞれの学びが深まるのではないかと考えた。

実践3の手立て

①民族楽器を準備して、自由に触ることができる環境を作る
→より具体的に楽器の音色や奏法、構造に興味を持つことができる

②ワークシートは特に枠を設けずに、既習の内容をもとに自分の興味関心のある視点で楽器について調べる
→興味関心に応じた自己決定の場を設定することで学ぶ楽しさが実感でき、学びの充実にも繋がる(学習の個性化)

手に入りそうな楽器ということで古琴(グーチェン)を選択した。



アリエクスプレスというサイトで購入した。

- ・この楽器は内容や背景についての資料が豊富にある。
- ・日本との関わりについての視点では、学校で学習する箏との繋がりもある。
- ・教科書にも掲載されている。

その他
購入し
た楽器

古箏 (こそう、グーチェン) 葫芦糸(フルス)



①民族楽器を準備して、自由に触ることができる環境を作る (調べた奏法について、実際に試している様子)



①民族楽器を準備して、自由に触ることができる環境を作る



②既習の内容をもとに自分の興味関心のある視点で楽器について調べる
→興味関心に応じた自己決定の場を設定することで学ぶ楽しさが実感でき、
学びの充実にも繋がる(学習の個性化)

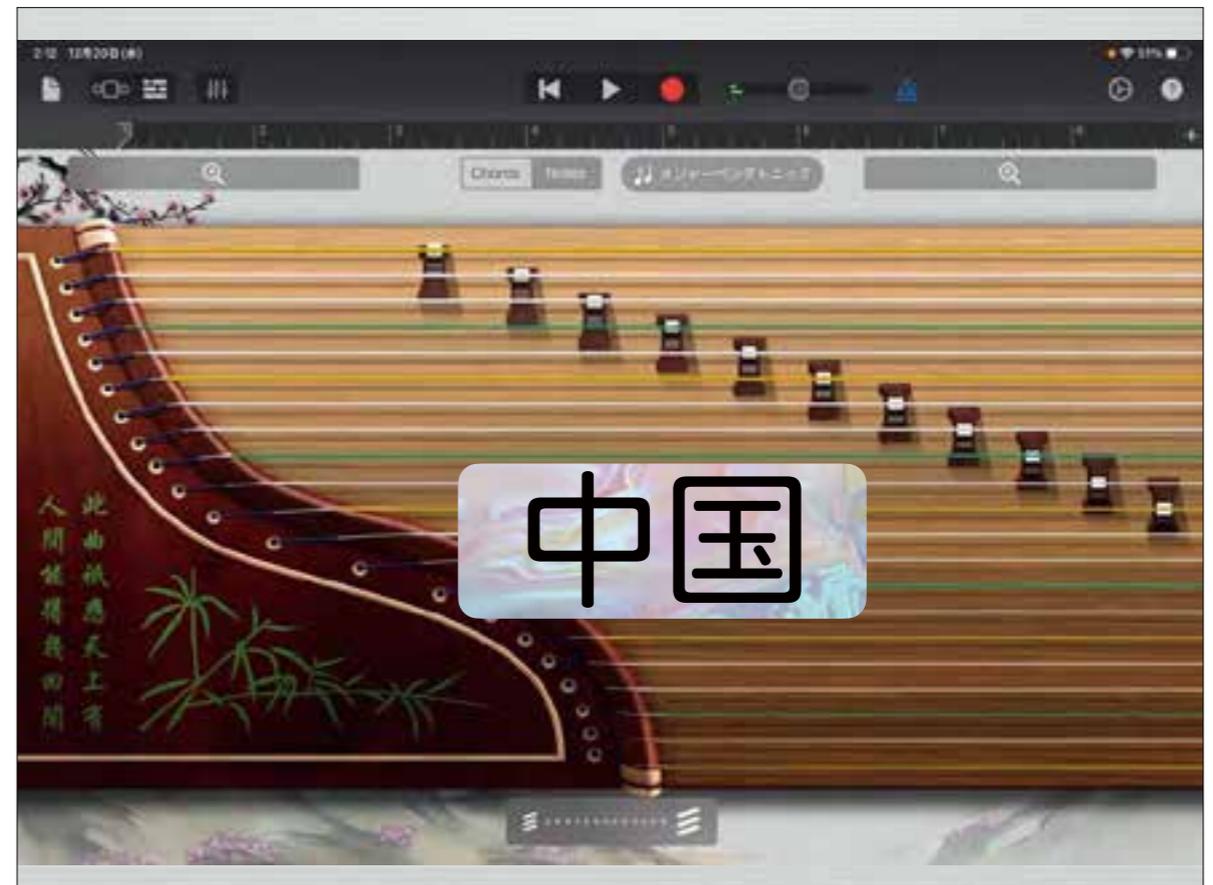
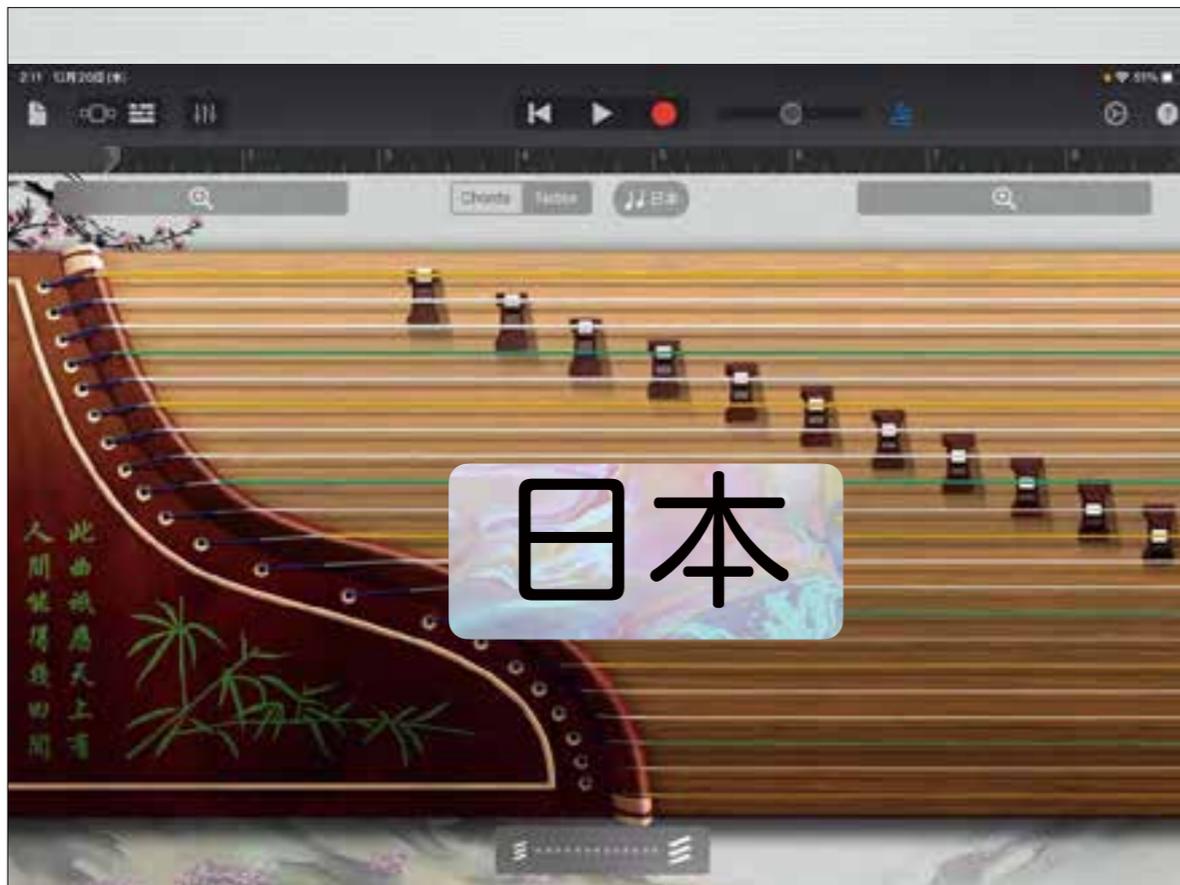
調べ学習の前に生徒にどのような視点で調べてみたいか
聞いたところ、

歴史、成り立ち、奏法、音色、音階(長調か短調か)、ど
んな時に演奏するか、楽譜、材質、どんな曲があるかな
ど様々なアイデアが出てきた

音階というアイデアが出てきたため、日本と中国の音階の雰囲気の違いに
についても取り上げた。



GarageBandに古箏の音源があり使用しました。



日本と中国

落ち着く
影を感じる

華やか
開放感

②既習の内容をもとに自分の興味関心のある視点で楽器について調べる
→興味関心に応じた自己決定の場を設定することで学ぶ楽しさが実感でき、
学びの充実にも繋がる(学習の個性化)

グーチンってどうやって音程を変えるの？
(調べながら)ポルタメントって何ですか？

教師が奏法を教えると習得しようと練習し、ワークシートにも自分の言葉で記述することができた。

②既習の内容をもとに自分の興味関心のある視点で楽器について調べる
→興味関心に応じた自己決定の場を設定することで学ぶ楽しさが実感でき、
学びの充実にも繋がる(学習の個性化)

調べ学習の際には、材質についてこだわって調べる生徒がいたり、歴史にこだわって調べる生徒がいたりした。調べている最中に、仲間や教師に質問し、その内容を学級全体に共有することで学びが深まる様子も見受けられた。

グーチンの材質はアオギリって書いてあるんですがこれって何ですか？

楽器の地理的背景と繋がると伝えると、楽器の材質にこだわって調べ、周りの生徒にその内容を共有すると、さらに絃についても調べている生徒がいた。

ポルタメントの奏法について、実際に試している様子



生徒のワークシートの記述の例

楽器の構造と名称、名称の由来、材質について調べた。

成り立ちや、材質、音色の雰囲気について調べた。

楽器の歴史や背景に注目して調べた。

楽器の音色や材質に注目して調べた。

Handwritten notes about 'Shamisen' (箏). A pink box highlights a table with columns for '種類' (Type), '特徴' (Features), and '演奏法' (Playing Method). A callout bubble points to the table with the text: **楽譜について注目して調べた。**

Handwritten notes about 'Shamisen' (箏). Two pink boxes highlight specific text. The first box contains text about the difference between Japanese Shamisen and Guqin. A callout bubble points to it with the text: **日本の箏と古琴の違いについて調べた。** The second box contains text about the history of Shamisen. A callout bubble points to it with the text: **歴史について調べた。**

時間が余ったら好きな民族楽器を調べて良いとしたところ、自分の経験をもとに調べた生徒がいた。

Handwritten notes about 'Kalimba' (カリンバ). The notes include a drawing of the instrument and text describing its sound and playing method. A callout bubble points to the drawing with the text: **時間が余ったら好きな民族楽器を調べて良いとしたところ、自分の経験をもとに調べた生徒がいた。**

手立て1
 楽器の音色や奏法、音階、構造などより具体的に楽器固有の良さについてより具体的に実感することができる。調べた内容について、実際に確認できるため、内容の理解がしやすい。

手立て2
 生徒一人一人の興味関心に応じて調べることができるため、より深く調べることができた。また、仲間と交流することで、学びの視点の広がりを感じた。

手立て1と手立て2の繋がりから、学びの深まりを感じた。手立て2で上がった疑問を手立て1の実際に演奏することで、こういうことかと納得している生徒が多くいた。

本日の発表内容

- ①テーマ設定について
- ②単元選択について
- ③民族音楽の研究内容
- ④学習指導要領での内容
- ⑤現在の社会的背景について
- ⑥実践1
- ⑦実践2
- ⑧実践3
- ⑨実践のまとめ

⑨実践のまとめ（成果）

生徒の授業での様子、ワークシートの記述、アンケートの結果から、鑑賞授業で音楽的な見方・考え方を働かせている様子が読み取れた。実践1・2の手立てである、「発音原理に基づいた楽器分類法」を用いたことで、楽器を体系的に理解する力がつき、楽器の共通点と違いを捉えることができ、新たな楽器について学ぶ際の基礎になると考えた。

⑨実践のまとめ（成果）

実践3の手立てである、「ワークシートは特に枠を設けずに、既習の内容をもとに自分の興味関心のある視点で楽器について調べる」については、生徒の興味・関心に応じて調べることができ、より深く記述することができていた。また、仲間と内容について交流することで、学びの視点が広がる様子が見られた。

⑨実践のまとめ（成果）

机間指導の際に、生徒の様相に応じて支援や声掛けを工夫して行ったが、進んで学びを進めている生徒に対して、多面的・多角的な考え方に気づかせるため、歴史的背景、楽器の材質と地理的背景との関連についてなど、より深い内容を例に挙げた。その結果、音楽と他分野と関連付けて学習を深めることができた生徒がいた。

⑨実践のまとめ（課題）

指導内容について、基礎・基本から応用、より深い内容まで段階的に整理し、共通の内容を他の単元や教科と繋げて生徒に提示することで学びの深まりが実感できた。

課題として、教材研究をする際に、指導内容を整理し、基礎・基本の内容、応用的な内容、他教科・他単元と繋がる内容など、段階を作り、1年間の指導計画を基に、毎回の授業の際に効果的に学習内容に取り入れていきたい。

⑨実践のまとめ（課題）

また、昨今、多文化共生社会に向けた変化が急速に進んでいるが、子供たちが日本国内で多文化と触れ合い、受け入れ共に生きていく社会にすんなりと適応できるよう、音楽科での取組を研究していきたい。

参考文献

書籍

世界音楽への招待 民族音楽学入門 柘植元一著 音楽之友社 1991年6月

はじめての世界音楽 柘植元一ほか著 音楽之友社 1999年5月

楽器の歴史(上)(下) クルト・ザックス著 全音楽譜出版社 1998年12月

比較音楽学 クルト・ザックス著 全音楽譜出版社 1998年12月

音楽大事典 岸辺成雄編 平凡社

学習指導要領解説 平成29年

論文

「世界音楽」－日本における受容とその意味 小日向英俊 2016年

民族音楽学と諸問題 秋山龍英 1978年